

氷の精鋭1475人集う



〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番99号
東奥日報社
電話 017-739-1111
(C)東奥日報社 2004

インターネット
号外

購読の
ご問い合わせは
東奥日報社販売局
017-4915000
24時間受付

スケートインターハイ

八戸市で開幕

第54回全国高校スケート・アイスホッケー競技会(インターハイ)が23日、八戸市を主会場に開幕した。

「この氷上に 君の思いを 刻み込め」のスローガンのもと、全国33都道府県から250校1475人の選手団が参加。初日は同市公会堂で開会式を行い、工大一アイスホッケー部主将の原優人選手が力強く宣誓、氷上の決戦へ決意を新たにしました。

本県選手団160人は水色と薄いグレーに彩られたポンチヨ姿で開会式に出席。八西スケート部主将の本宮春佳選手が旗手を務め、堂々の行進をした。

天沼照夫全国高体連会長、三村申吾知事らのあいさつに続き、地元高校生を代表して八高生徒会長長の小山石隼君が「大会を通して、新しい出会いが生まれる事を心から願っています」と歓迎の言葉を述べた。

最後に、選手を代表して工大一アイスホッケー部主将の原優人選手が「地震や津波など自然災害から復興へ頑張っている方々を少しでも勇気づけ、また励みになれるよう、一秒一秒たましい込めたプレーをすることを誓います」と宣誓した。大会は27日までの5日間、八戸市(スピードスケート、アイスホッケー)、三沢市(フィギュア)、福地村(アイスホッケー)で繰り広げられる。



開会式で入場行進する本県選手団の旗手・本宮春佳選手(八西) 〓 23日午後2時15分、八戸市公会堂